

Rotary

Rotary International District 2570
GOVERNOR's Monthly Letter

2023-2024年度
ガバナー月信 Vol.11

5月号



ロータリー月間テーマ (5月)
青少年奉仕月間

お名前：ロー. ティ クイン チャン 出身国：ベトナム 在籍校：西武文理大学 サービス経営学部 サービス経営学科



世界に希望を生み出そう

— 地区スローガン —
“希望を語ろう”
— We are Rotary, together —



ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2570地区

地区大会を終えて

2023-2024年度国際ロータリー
第2570地区ガバナー

高丹 秀篤 (深谷RC)

澁澤栄一翁のアンドロイドが地区大会に集まった2570地区のロータリアンに語りかける場面で幕を開けた大会テーマは、「ロータリー理念と澁澤栄一思想を学ぼう」としました。

願わくば、ロータリアンはロータリーの考えと澁澤栄一思想とが時代を超え、文化を超えて『超私の奉仕』と「論語の教え」とが重なり合うことに気づき、より一層のロータリーに触れる機会になれば今大会の目指すところでありました。また、一般市民は、ロータリーってどんな団体？どんなことしているの？との疑問に少しでも理解できロータリーに興味を持ってもらえたらという思いでした。深谷市民文化会館を埋めたロータリアンと市民と一緒に新一万円札発行を祝い、澁澤栄一の人となりにより身近に感じられたら、この大会は意味があったと強く確信しました。これも深谷ロータリークラブの仲間が一生懸命に当たってもらい深谷での地区大会を成功させるという気概がもたらした結果だと思えます。これは深谷クラブの仲間のみならず、コホストクラブの皆様も同じ思いで協力してくれたお陰だと思えます。

さて、今大会のメインテーマとして、「新世代の仲間」にスポットを当てることでした。なぜならば、これからの世界は彼らの世界平和への貢献にかかっているからです。気候変動・地域紛争・子供の貧困・格差社会等、世界が抱える問題は山積みです。私たちロータリアンが支援している、「青少年交換プログラム」や「米山記念奨学生」や「R財団留学生支援」やら、ロータリーはこれからの担う若者たちへの支援活動を続けています。今大会でもそれぞれのグループから彼らの想いを語ってもらいました。我々の期待以上の想いで答えてくれて、胸の熱くなるような語りもありました。われら2570地区から発信された「希望の風」運動でどれだけの東日本大震災で被災した、親を亡くした子供たちが勇気づけられたか、あの一人一人の感謝の言葉を聞いたら、私たちの今までの支援活動に誇りさえ感じられました。また、19か国からの米山奨学生の「祖国と日本の架け橋になる」との強い想いにも感動を覚えました。アメリカからの報告映像で、現地の人々と地域のクリーン活動や人助けの活動をしている財団留学生にも頭が下がる思いでした。これからもしつかり彼らを支えていかなければなりません。その為には私たち一人一人の寄付や支援金で成り立っていることも自覚していきましょう。澁澤栄一がどれだけ社会貢献した人か、出来る範囲で貢献していきたいと思うところでもあります。

5月のロータリー月間は「青少年奉仕月間」です。青少年交換留学生や米山奨学生の世話クラブの皆さん、彼らを通して学ぶことも多かろうとも思います。今後とも積極的にご支援ご協力お願いします。

第1グループの I M についての報告



第1グループガバナー補佐

山下 茂 (東松山むさしRC)

第1グループの I M は、令和6年2月10日、東松山市民文化センターにて開催されました。「地域で世界で奉仕しよう」をテーマとして、式典、記念講演、社会奉仕フォーラム及び懇親会の順で実施されました。会員は約150人（懇親会120人）が参加しました。グループ全体の半分弱なので、もう少し参加して欲しいと思います。記念講演は、一般市民を無料で招待し、約400人が参加しました。ロータリーの公共イメージの向上になったものと思います。

記念講演では、杉良太郎さんが、国内外で取り組まれている福祉活動について語りました。一部を紹介します。金のある人は金を寄付し、金のない人は時間を寄付し、金も時間もない人は福祉活動をしている人を理解してあげればいい。お金を振り込むだけでなく、現地に行くことが大事。人に喜んでもらってありがたいと言われ笑顔を見るのがいい。

社会奉仕フォーラムでは、第1グループの各クラブが、実施している奉仕活動等について報告しました。会員が他のクラブの具体的活動を直に聞き、自分たちの活動に結びつけてくれればと思います。

懇親会は、会場費が安い分（15,000円）、お酒は獺祭とイチローズモルトを用意し、料理も小藤会長とマルイの社長が気合をいれて用意してくれたので、大好評でした。I M の懇親会は、会員間の交流を図る唯一の機会なので、地域の食べ物と飲み物を探すなど、会員が楽しみに参加できるように、もっと工夫し力を入れるべきです。



IMテーマ『希望あふれる未来のために』



志木ロータリークラブ

会長 市之瀬 正靖

「夢を持つ子供は社会の活力」といわれる様に、次世代を担う子供達が希望を持つことは、私達の社会において重要な資源です。しかし、我が国の子供達の取り巻く環境は、様々な社会問題により、希望を持ちやすい状況にあるとは言えません。このまま私達が、この状況を放置してしまうと、子供達が描きたい未来を私達が潰してしまうかもしれません。私達ロータリークラブの会員は地域のリーダーです。私達がこの状況を認識し、子供達に未来を描ける土台を支えてあげることが、次世代への「奉仕」に繋がると考えます。そこで今回のIMは未来を担う「子供」にフォーカスし、何ができるかを考えましょう。

●ホストクラブ会長挨拶

志木ロータリークラブ会長 市之瀬正靖

岩下IM実行委員長をはじめとする実行委員会の企画立案並びに、志木クラブ会員の下支えで開催することが出来ました。会議の中から、各クラブが刺激となるエッセンスを拾い上げて頂ければ幸いです。

●IM実行委員会委員長

志木ロータリークラブ 岩下正基

グループ内各クラブ会長幹事をはじめとする全ての会員の皆様に御協力をいただき盛会のうちに終了させることができました。今回のIMにより生まれたグループ内の連帯と結束が今後のロータリー活動の大きな礎になる事と思います。



第3グループのIMについての報告



第3グループガバナー補佐

齋藤 栄作 (入間RC)

第3グループのIM 都市連合会・インターシティーミーティングは「相撲を通じた街づくり」をテーマにガバナー補佐の街入間市が「わんぱく相撲」から29年の時を経て現在、「相撲の街・入間」となった経緯や現在を入間市長杉島理一郎様、入間市教育長中田一平様をパネラーとしてお招きし記念講演をしていただきました。また、入間のわんぱく相撲に29年間指導者として携わり現在国技館に入間市相撲クラブから9名の力士を送り込んでいる入間南ロータリークラブパスト会長西澤正夫氏にも臨席を賜り、入間のわんぱく相撲創立に大きく関わって来たガバナー補佐をコーディネイターとして手作りのIMを行いました。

当日記念講演会より懇親会まで教え子である北勝富士大樹、大栄翔勇人、二人の関取も花を添えていただきました。参加者も関取衆を身近で感じ記念写真撮影等懇親を深め、入間市、狭山市、飯能市、日高市、所沢市、11クラブで構成される第3グループが一丸となって国技相撲の地元出身力士を応援しようと大いに盛り上がりました。

最後にガバナー補佐が「まちづくりとは」。熱意を持って行う人が居てその人の周りにそれを応援する人々が集まり、その事柄を永年に渡って整理整頓して継続させてゆくコーディネーターが居る。そして入間市＝（行政）と子供のフィールドである＝学校・教育委員会というパートナーシップが得られたことが現在を作り上げており、1年、1年の積み重ねが実績を生み出すこと。まちづくりとは難しそうですがこれらの条件が揃えばさほど難しい事ではないのということ。そして何より原動力としてそこに参加する人々全ての心に「夢」が必要であると結んで閉会となりました。



2023～2024年度 R I 第2570地区 第4グループ IM

第4グループのIMについての報告



第4グループガバナー補佐

原島 生慈 (秩父RC)

2024年2月3日(土)節分の日には秩父市のナチュラルシティ農園ホテルにて第4グループのインターシティミーティングが開催されました。

IM (インターシティミーティング)、別名都市連合会を開催する意義は、近隣クラブの会員の情報交換と親睦にあります。グループ内10クラブの会員が集い、式典・協議会・懇親会の3部構成で行われました。

式典では、物故会員と能登半島地震での被害者への黙祷に始まり希望の風募金と能登半島への募金をIMの事業として発表し前年度ガバナー補佐への感謝状並びに次年度のガバナー補佐にご挨拶をいただきました。

協議会は「過去を振り返り未来を語る」を題目に各クラブ会長に映像を交えて発表頂きました。各クラブの歴史や活動状況が他クラブへ伝わるとともに各クラブの未来へのヒントになったと思います。

懇親会では、当日が節分ということもあり出席のカバナー並びにガバナーエレクトそしてパストガバナーの皆様にご協力いただき各クラブ会長がその鬼に向かって今後の幸せを祈念して、豆まきをして頂きました。アトラクションとしてはグループ内を代表して4クラブの会員にカラオケで参加をしていただき、会場の皆様と一緒に踊ったりして盛り上がりました。

最後は「手と手をつなぎ」を参加者260名が輪になって合唱して閉幕になりました。

主催者の気持ちとしては多くの参加者への感謝と、グループ内情報交換になったと思います。やはりロータリーは多くの仲間がいて楽しいものであると再認識することができました。



2023～2024年度 R I 第2570地区 第5グループIM

「親睦とロータリーの情報交換」～クラブと地区の架け橋に～



第5グループガバナー補佐

五十幡 和彦 (行田さくらRC)

2月12日(月・祝)、熊谷スポーツホテル PARK WINGにおいて第5グループIM(インターシティミーティング)、都市連合会が約200名の参加者の下、開催されました。

IMの目的は「親睦とロータリーの情報交換」です。今回のIMはこの目的に沿って第1部の式典では国際ロータリー第2570地区ガバナー高丹秀篤様、行田市市長行田邦子様、熊谷市長小林哲也様、衆議院議員野中厚様、衆議院議員森田俊和様、埼玉県議会議員柿沼貴志様、行田商工会議所会頭細井保雄様をご来賓としてお迎えし、第2部の情報交換ではホストクラブが位置する行田市の取り組みの紹介として旧忍藩第16代当主松平忠昌様による記念講演「三方領知替から200年」を開催、第3部では同じくロータリーの情報交換として「第5グループ内10クラブ活動報告」を10名の会長ならびに幹事の皆様にご登壇いただき、紹介していただきました。

続く第4部の4年ぶりに飲食を伴って行われた懇親会ではオープニングをアトラクションチアダンス「Rapora」の皆様、アトラクションミュージックを「行田アンサンブル協会」の皆様にご飾り添え、式典に引き続き約190名の皆様にご参加いただき着座式にて開催しました。

今回のIMが目指した親睦とロータリーの情報交換が、テーマとして掲げた「クラブと地区の架け橋に」になることを願うとともに、ご参加いただいた大勢のロータリー会員の皆様に、心から感謝申し上げます。



米山記念奨学生終了式並びに歓送会の報告



米山学友委員会

副委員長 清水 洋子 (深谷RC)

3月20日67名の参加をいただき、アルカーサル迎賓館川越において「米山記念奨学生終了式並びに歓送会」を開催いたしました。

今年度は19名の奨学生の内、12名が終了し7名が継続となります。

渡邊藤男統轄委員長より、世話クラブ・カウンセラーには感謝の言葉を、奨学生には1年を通して学んだことを理解しそれぞれ頑張ってもらいたい。学友として引き続きお願いしますとお話がありました。

また、高丹秀篤ガバナー、五十幡和彦ガバナーエレクトより、お祝いの言葉を頂戴いたしました。奨学生には「修了証」を、カウンセラーには「感謝状」が手渡されました。

その後、歓送会に移り奨学生やカウンセラーから思い出話や感謝の言葉で楽しいうちに閉会いたしました。

多くの世話クラブ・カウンセラーの皆さまに心からお礼申し上げます。引き続き米山記念奨学事業にご協力賜りますようお願い申し上げます



第34回 国際ロータリー白馬交換留学生スキーの集い 報告

主 催 白馬ロータリークラブ「交換学生スキーの集い実行委員会」
国際ロータリー第2570地区 2023-2024年度 青少年交換プログラム 他7地区
約180名

日 時 令和6年3月25日(月)～27日(水)の2泊3日
場 所 白馬山麓 白馬五竜スキー場
宿泊及び懇親会会場「白馬東急ホテル」

出席者 第53期インバウンド学生・ローテックス・青少年交換委員会
内 容 国際ロータリー交換学生（派遣候補生、ローテックス）並びに、地元白馬高校生による「交換学生スキーの集い」



青少年交換委員会
温井 康宏 委員

白馬ロータリークラブ様主催による「交換学生スキーの集い」にインバウンド5名と引率ローテックス2名、引率委員2名にて参加をいたしました。

初日は東松山駅に集合をし、陸路で白馬まで向かい途中道の駅白馬にて昼食をし、白馬東急ホテルへチェックインとなりました。チェックイン後はレンタルスキーセットのサイズ確認や、夜に控えた交換学生合同前夜交流会に向けた催しのチェックなどを行いながら夕食を迎えました。ホテル内での夕食ののちに交流会へと流れていき、交換学生合同前夜交流会では練習の成果を發揮すべく交換学生トップバッターとしてダンスを披露し、大成功に終わりました。その後も各地区の催しを見学しながらも、他地区インバウンド学生とともに率先して交流を図る姿を見て、初日より参加の意義を強く感じました。交流会後は解散となりましたが、名残惜しむインバウンド学生に明日もあるのほどほどにするよう話したほどです。

2日目はいざ開会式へ。D2600地区ガバナーからも各国言語でのご挨拶がありインバウンド学生は驚いているようでした。開会式終了後バスに乗り白馬五竜スキー場へ。

あいにくの雨模様となってしまいましたが、ここからは2570地区の交換留学生はばらばらとなり各々白馬高校の生徒より指導を受けながら1日スキーを楽しんでいただいたのですが、はしゃぎすぎて夜の交流会までエネルギーが持つか心配になりましたが、若いだけあって夜の交流会でも積極的に交流を図っていました。

交流会ではバナーやパッチの交換を行い、思い出を増やすとともに親近感も強く持つことができたと感じ、今後も末永く関係性が保たれるように思います。

ダンスパーティーもあり、通常のオリエンテーションなどでは感じにくいような海外の文化を、交流を通じて学ぶことができたと感じます。

3日目は昨日よりも天気が良くスキーも楽しみやすい天気となりました。

朝からスキー研修を行い、半日での帰郷スケジュールとなりましたが、昨日の練習の成果も發揮しながらも、苦戦している姿も見えそれでも努力をしている姿勢があり、とても成長を感じました。スキーを通じてのコミュニケーションはシンプルな言葉が多い中でも同じ行動を共にすることにより、より深く信頼関係が構築できたものと思います。半日での帰郷となりましたが、帰りの車中での思い出話や疲れ切って休む姿を見ながらも、将来の活躍を大きく期待したいと思いました。



表彰

PHP ポール・ハリス・フェロー **MPHP** マルチプル・ポール・ハリス・フェロー **PHS** ポール・ハリス・ソサエティ
MD メジャードナー **BF** ベネファクター **米山** 米山功労者
米山M 米山功労者マルチプル **米山MD** 米山功労者メジャー・ドナー **数字** 表彰回数

PHP 1  栗原 雄一 川越	MPHP 4  西澤 堅 川越	PHP 1  堀尾 泰崇 川越	MPHP 5  片山 幸雄 川越
PHP 1  島村 拓史 川越	MPHP 5  米原 恭淳 川越	MPHP 1  五十嵐 敦子 本庄	PHP 1  阪上 清之介 本庄
米山MD 18  高柳 育行 本庄	米山M 3  坂本 優蔵 本庄	米山M 2  中島 高夫 本庄	米山M 2  塚越 茂 本庄
米山 1  金井 福則 本庄	米山M 6  春山 茂之 本庄	PHP 1  福井 千秋 熊谷	PHP 1  福島 一也 熊谷
PHP 1  諏訪部 享治 熊谷	PHP 1  栗原 良太 熊谷	PHP 1  荻野 智 熊谷	PHP 1  合田 裕章 熊谷
MPHP 1  柿沼 伸幸 熊谷	MPHP 1  今井 徹雄 熊谷	MPHP 1  時田 芳文 熊谷	MPHP 2  田中 治男 熊谷
MPHP 2  岡本 庄一郎 熊谷南	PHP 1  川岸 勝 熊谷南	米山 1  大村 相基 志木	米山 6  山村 昭康 志木

米山 7



宮原 克平

志木

米山 7



武藤 典夫

志木

米山 8



醍醐 治江

志木

新会員紹介

入 入会年月日 勤 勤務先 役 役職 生 生年月日 紹 紹介者

川 越



戸口 真也

入 2024年3月5日
勤 ㈱JTB 川越支店
役 支店長
生 1975年12月23日
紹 坂口 孝・栗原雄一

深 谷



柿沼 宏行

入 2024年2月6日
勤 ㈱荒木屋
役 代表取締役
生 1969年4月17日
紹 小内陸夫

深 谷



三村 友子

入 2024年2月6日
勤 寿産業㈱
役 代表取締役社長
生 1969年12月4日
紹 小内陸夫

深谷東



福島 成人

Naruhito Fukushima

入 2024年4月5日
勤 株式会社 福島
役 代表取締役社長
生 1980年6月8日
紹 村岡敏弘/村岡 守

本 庄



小林 智明

Tomoaki Kobayashi

入 2023年12月7日
勤 ㈱三宅不動産
役 支店長
生 1978年10月27日
紹 佐藤賢則/温井康宏

新 座



山腰 拓実

Takumi Yamakoshi

入 2024年3月28日
勤 EN国際法務司法書士事務所
役 代表取締役
生 1982年5月10日
紹 森田輝雄

日 高



鬼澤 孝広

Takahiro Onizawa

入 2024年4月9日
勤 飯能信用金庫 日高支店
役 支店長
生 1970年10月14日
紹 白井 威

羽 生



長澤 允

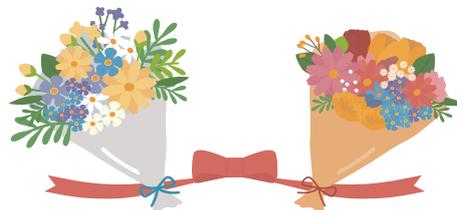
入 2023年11月7日
勤 SAMグリーン㈱
役 代表取締役
生 1984年2月26日
紹 田邊将宏・石川篤信

羽 生



奥貫 雄大

入 2023年11月7日
勤 ㈱ALPHAN
役 代表取締役
生 1984年2月23日
紹 田邊将宏・石川篤信



訃 報



深 谷

亀井 實

- ご逝去日
2024年3月30日 (享年89才)
- ローターリー歴
1984年9月25日入会 (在籍39年)
- 役職など
2002~03/パスト会長 2004~05/パスト会長

■ 会員数 (2024年3月)

グループ	クラブ名	会 員 数				
		2023年 7月1日	3月 末	対 年 初 増 減	3 月 末 女 性 会 員	My Rotary 登 録 率 %
第1	川越	97	97	0	4	45
	東松山	22	24	2	2	38
	小川	7	6	-1	2	0
	坂戸	28	28	0	1	20
	越生毛呂	10	9	-1	1	0
	川越小江戸	10	15	5	2	33
	川越西	24	26	2	4	36
	鶴ヶ島	30	30	0	3	67
	川越中央	23	23	0	1	17
	坂戸さつき	20	19	-1	3	20
東松山むさし	39	38	-1	4	28	
小 計	310	315	5	27	28	
第2	朝霞	21	23	2	2	50
	志木	41	49	8	4	47
	富士見	35	37	2	0	36
	新座	22	23	1	3	14
	和光	12	11	-1	3	37
	朝霞キャロット	10	10	0	0	35
	新座こぶし	8	9	1	3	44
	小 計	149	162	13	15	37
第3	入間	39	39	0	1	42
	所沢	58	61	3	5	22
	飯能	65	64	-1	1	10
	新所沢	17	19	2	2	32
	日高	20	20	0	3	35
	所沢西	35	39	4	4	31
	新狭山	18	18	0	0	78
	所沢東	49	47	-2	2	20
	入間南	39	38	-1	0	41
	所沢中央	18	18	0	2	78
狭山中央	19	19	0	5	32	
小 計	377	382	5	25	38	
第4	深谷	58	58	0	13	48
	本庄	92	93	1	7	37
	秩父	48	52	4	1	37
	寄居	33	36	3	0	11
	児玉	2	2	0	0	0
	岡部	16	17	1	2	63
	深谷東	63	70	7	0	35
	川本	6	6	0	0	0
	皆野・長瀬	6	8	2	0	25
2570パスポート	2	2	0	1	100	
深谷ノース	25	25	0	2	48	
小 計	351	369	18	26	37	
第5	熊谷	95	94	-1	4	52
	行田	55	56	1	6	12
	羽生	40	42	2	3	7
	加須	23	23	0	0	9
	熊谷西	8	8	0	0	13
	行田さくら	51	53	2	2	75
	熊谷東	20	19	-1	1	20
	吹上	6	6	0	1	67
	熊谷籠原	27	29	2	0	38
	熊谷南	28	27	-1	2	36
小 計	353	357	4	19	33	
地区	合 計	1,540	1,585	45	112	35

■ スケジュール

日 時	担当委員会名	内 容	開催場所	
5月	11日(土) 12日(日)	青少年奉仕委員会	全国青少年交換研究会参加	山形県天童市
	14日(火)	ロータリー財団委員会	埼玉県知事表敬訪問	埼玉県知事公館
	18日(土)	ロータリー財団委員会	「R財団奨学生」 選考試験・選考会議	坂戸市文化施設オルモ
	19日(日)	薙れ2570プロジェクト委員会	「ロータリー希望の風奨学金」 募金活動	本庄総合公園
6月	2日(日)	米山記念奨学委員会	学友総会	アルカーサル川越迎賓館
	22日(土)	ロータリー財団委員会	第5回オリエンテーション 及び歓送迎会	坂戸市文化施設オルモ



ロー. ティクインちゃんスピーチ

日本に来てちょうど5年が経ちました。もちろん、計画通りには進まないこともあります。留学したことに後悔しないです。18歳というのは自分の人生に対する責任を負い、人生の岐路に立つ時間だと言えます。その時、日本に留学することを決めました。

かねてより日本の文化、景色や国民性に好感を持ち、経済発展を果たした国で勉強したい、そして出来るだけアジアを視野に入れた国際人になりたいという気持ちも強かったです。

私の夢は人より体験をたくさんすることです。「あの時やっておいて良かった」って後悔しないように機会があればすぐ行動するのです。人の格差というのはお金ではなく、経験だと自分は思っています。

好き言葉があります「やればできる」だから思ったらやってみよう！時には辛いこともありますが、その時は逃げていいから、でもその時は絶対に諦めないでください。自分のほんとに歩みたい人生だけを諦めないでください。

そして、ロータリー米山奨学生として私にとって留学5年間の中でも最高の期間です。多くの国々からの友達できました。米奨学生になって以来、日本文化および日本社会への理解が深まり、学校や研究では学べない様々な貴重な知識や知見をいただくことができました。かけがえない人、出会えて良かったと思える人、自身の価値観や人生観に影響を与える人、いつ出会うか分かりませんので、皆様との一期一会の出会いを大切にします。

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。

ガバナー月信 5月号

2023-2024年度 vol.11

2024年5月1日発行

国際ロータリー第2570地区 地区事務所

〒355-0028 埼玉県東松山市箭弓町2丁目5番14号

ガーデンホテル紫雲閣内

[TEL] 0493-21-2570 [FAX] 0493-21-2571

[mail] d-office@mail.rid2570.gr.jp

[web] https://www.rid2570.gr.jp

[月信原稿送信先] masahiro-31@nifty.com

ガバナー月信編集委員会 委員長 下境 将寛